

- SUSTAINAREAT 2023 feat. DJs -

■ 高橋 透 | Toru Takahashi (Godfather)



1976年からDJ活動をはじめ、1980年にNYへ移住、1981年に一時帰国、〈樺ハウス〉、〈玉椿〉、〈CLUB-D〉などの80年代を代表する箱のメインDJを務める。1985年にNYへ戻り、DJとして活動する。1989年に帰国。その後も芝浦〈GOLD〉でのレジデントをはじめ、数多くのクラブ、パーティーに関わる。現在は宇川直宏、MOODMANと主催するディープ・ハウスパーティー〈GODFATER〉のひとりとして活躍。ミックスCDとして『GODFATHER 10th ANNIVERSARY SPECIAL MIX VOL.1』、また70年代からのDJ活動の全貌を活字で明らかにした著書『DJバカー代』(自叙伝)は、日本におけるダンスミュージックの歴史を紐解く参考書的な役割を果たす作品として各方面から賞賛されている。また2019年にはスイス銀行のレーベル第一弾として、TOHRU TAKAHASHI DJ MIX CD「Bank of Swiss Vol.1」をリリース。40年以上に渡りダンスミュージックの最前線で活躍し続けるパワーとキャリアから生まれるボーダレスな選曲、ミックス感覚は唯一無二の存在であり、常にダンスフロアに高揚感と刺激を与え続けている。

■ DJ NORI



'86年に渡米、Larry Levanと共にプレイした経験を持つ。映画『MAESTRO』では、世界のダンスミュージックシーンに最も影響を与えたパイオニアとして出演。2006年、初のミックスアルバム「Loft Mix」をリリース。2009年には彼のキャリア集大成ともいえるDJ Nori 30th Anniversaryを開催し、前人未踏の30時間ロングセットを達成。2013年より青山ZERØにて新パーティTreeを始動。奇才プロデューサーMaurice Fultonとの交流も深く、Maurice来日時に共同制作した楽曲を収めたEPも国内外で高い評価を得ており、楽曲制作においても活躍。2015年に、再びミックスCDをリリース。DJとしてのキャリアが40年以上となる今も、ラジオ出演、ロンドンやニューヨークでの海外公演、さらにレギュラーパーティGallery、Treeをいまだ精力的に続けており、音楽のかけ方、音楽そのものの表現方法を知る、世界の至宝と呼ばれる所以となる。

■ DJ MIKU (GLOBAL ARK Recordings | NS-COM | Musicmine) DJ | トラッククリエイター | 音楽プロデューサー



90年代初期よりエレクトロニックサウンド(テクノ)を基調としたダンスミュージックでDJ MIKU(DJ MIK)としてのオリジナリティを確立。Club Razzle、Key-enegy、Sound of speed、CycloneなどのレジデントDJを歴任。91年「Club Razzle」にて日本初のアフターアワーズ・テクノパーティーのレジデントDJとして注目を集め、このジャンルの創世記を担う。作品は90年代から2010年代までDJ MIKU名義でPickin'mushroom、Pussyfoot、WC recordings、blank records、Music mine、Hypnotic Room)等からリリース。またレーベルBlank Records、ElectricPunchesの設立、アーティストのプロデュース、楽曲提供などマルチな活動も展開してきた。2012年からは野外パーティー「GLOBAL ARK」を仲間と共に主宰。現在「GLOBAL ARK Recordings」を立ち上げ順次リリースしていく。(尚、第一弾はスペインテクノの至宝、Eduardo De La Calleの4曲入りEPを2月末にリリースする) <http://djimiku.com>

■ Kaoru Inoue



DJ/音楽プロデューサー。90年頃よりDJスタート。94年よりChariChari、そしてKaoruInoue名義での音楽制作やリミックスで数々の作品を残し、またクラブ、野外フェス問わず様々な現場でのDJ活動を通してオルタナティブなダンス・ミュージックの可能性を追求してきた。レーベル「SeedsAndGround」を主宰。2018年にポルトガルのレーベル「Groove-ment」から、よりエレクトロニック〜アンビエントなどにフォーカスしたアルバム『EmPaz』をリリース。2020年ChariChari名義での18年ぶりの新作『Wehearthelastdec-adesdreaming』を、2021年にはそのリミックス・アルバム『MysticRevelationofSuburbanity』をリリース。エスニック風味のオーガニックなエレクトロニック・サウンドが話題を呼んだ。現在青山のクラブ「0Zero」にて、アンビエントやニュー・エイジ、オプスキュア・サウンドまでを視野に入れた全方位型の音響体感パーティー「Euphony」を隔月で主宰。
<http://www.seedsandground.com>

■ SUGIURUMN | BASS WORKS RECORDINGS主幸



これまで7枚のオリジナルアルバムを発表し、シングルも世界各国のレーベルよりリリース。3シーズン連続で務めたPACHA IBIZAのミックスCDも好セールスを記録した。DJとしても24時間セットを幾度となく敢行。近年もIbizaやManchesterなど、頑丈な体と精神を存分に生かして、ワールドワイドに精力的に活動している。2013年より、自身のレーベル、BASS WORKS RECORDINGSをスタートさせ、シリアスなダンスミュージックを毎週、世界に発信している。 <http://sugiumn.com>

■ ENUOH



東京目黒生まれでホームタウンは渋谷。90年代初頭、芝浦GOLD、西麻布YELLOWをはじめとするナイトクラブシーンの洗礼を受け開眼。ハウスDJとしてキャリアをスタートする。安定感のあるハウシーなDJスタイルには定評があり、パーティーのオープンからラスト、高級ラウンジバーからアンダーグラウンド野外パーティまで、様々な空間に溶け込むオールラウンドタイプ。近年はB2Bユニットとして2人でのオファーも多く、その相方MATSUNAMIと手掛ける『EMOTIVE』、『GLOBAL ARK』、『99FLAGS』といった野外パーティへのレギュラー出演、無農薬野菜マルシェ『ビオ市』での選曲担当をはじめ、都内各所のクラブやバーを中心に活動中。

<http://soundcloud.com/enuoh>

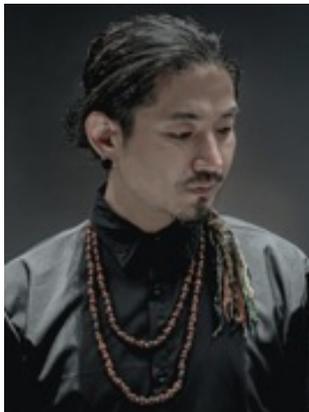
<http://www.mixcloud.com/ENUOH/>

<https://www.instagram.com/enuoh/>

<http://www.facebook.com/ENUOH>

<http://twitter.com/ENUOH>

■ DO SHOCK BOOZE (TOTEM TRAXX | Kneaded Pains | MEIYOU)



DJ/サウンドプロデューサー、Yoichi Hayashiの変名音楽プロジェクト『Do Shock Booze <ドウショクブツ>』。90年代後半からロック、ミクスチャーバンドのフロントマンとして表現を続け、2000年代初期より作曲とDJ&LIVE ACTとして活動の幅を広げていく。2010年、自身が立ち上げたレーベル<TOTEM TRAXX>からのリリースを軸に、ドイツの老舗レーベル<Traum>やDense & Pika (UK) 主宰の<Kneaded Pains>等、国内外のレーベルから作品の発表を重ね、「Beatport」のヒットチャートにランクイン。「FUJI ROCK FESTIVAL」への出演をはじめ、野外イベントやJ.A.K.A.M. aka Moochy、ZEN RYDAZ、雲見レコード等へのリミックスの提供、ポッドキャスト「TOTEMIX」の運営。2018年からは、アンダーグラウンド・パーティーシリーズ「MEIYOU」のほか、野外フェスティバル「Global Ark」を主宰。Doushokubutsuの世界では、オーガニックなサウンドスケープを指向したディープ・テクノ、トランス音楽が自由奔放に表現される。 <https://doshockbooze.com>

■ 六弦詩人義家 (ECSTASY TWINS | GLOBAL ARK)



幻想的なバックトラックに共鳴するエレクトリックギターと詩の朗読を重ねたパフォーマンスを繰り広げる孤高の吟遊詩人

プログレッシブロック、テクノ、民族音楽等、多岐に渡る音楽をルーツとし独自の世界観を構築する。強烈なフィードバックを駆使したギターの旋律は聴衆を恍惚の極致へと誘う。小滝みつる (ex 戸川純とヤブズ) とのユニットECSTASY TWINSで活動する。野外テクノパーティGLOBAL ARKのオーガナイズメンバーを務め、国内屈指のパーティへと牽引して来た。

これまでに渡辺香津美、押尾コータロー、大友良英、元ちとせ、藤巻亮太、青葉市子、KENTA HAYASHI等多数のミュージシャンと共演
Facebook <https://m.facebook.com/yoshiie.rokugenshiin>
Instagram <https://www.instagram.com/rokugenshiijinyoshiie>

■ Naoshi Matsumura



音楽とサウンドに携わっている日本のアーティストです。幼少の頃より造形表現に強い関心を持ち続け、アメリカ東海岸に留学。日本へ帰国後は、ティビ・セッションユニット「移ノ瞬（うつろいのまたたき）」や、アンビエントやチルアウトのDJ「NaosisoaN」名義にて、東京を拠点として全国のフェス、お祭り、パーティーを巡る旅を多くしました。現在は音作家として、ビジュアルアーティスト、造形作家とのコラボレーションや映像作品への楽曲提供を中心に活動しています。藤野で毎月行われているマルシェ「ピオ屋台村」には、DJとして携わっています。チューニングフォーク（音叉）に興味を持ったことをきっかけに、音の波によるカラダやココロ、意識の変容について研究を深めていくことになり、音叉、シンセサイザー、クリスタルボウル、様々な楽器を用いた音の波によるサウンドセラピー「Sono Healing」を展開しています。また、メディテーション、催眠療法のための音源も多数制作しています。

<https://soundcloud.com/shupilita>

■ TSUTOMU (Sawagi Festival | nagomi)



2003年、今は無き青山LOOPにて始動し、現在は世界屈指のルーム・アコースティックサウンドを備えるAoyama ZEROにて音楽とアートの融合、人と人が繋がる空間を創り上げてきたパーティー“nagomi”レジデントDJ。2015年、山中湖にて“SAWAGI FESTIVAL”を発足させ、同時に、代々木公園にて開催されている“Spring Love 春風”にて運営チームの一人として活動している。Sawagi Festival 2017にはフランスより国外初となる、Tappion Soundsystem (Shlomo x AWB x PVNV)のLIVE パフォーマンスの招聘に成功、さらに Francois X、Antigone、Bambounouなど、フランスアンダーグラウンドシーンを中心に屋内外にてパーティーを主宰し、2019年にはアート集団 #BCTION と自身のプロジェクトの融合を成功させ、今後の展開にますます注目が上がっている。また、Hole and Holland PODCASTやJ-WAVE “TOKYO M.A.A.D SPIN”、Block FM、等にDJ MIXを提供。今後の活躍が期待されるDJ/プロデューサーである。

<https://www.facebook.com/sawagifes/>

■ TARZAN (山川DC | NEWTONE | MEIYOU)



2018年にDJを始め、グイグイとプレイし続けるTarzan。2019年に親友のTAKAとBonoboでレギュラーパーティーNEWTONEをスタート。その後、TAKAとORGANIC DYNAMITEのDuoとして野外パーティでデビュー。トライバル電子音楽を軸としたMEIYOU、トランス/サイデリックを中心とした野外フェス「Meeting Point Festival」のオーガナイザーの一人でもある。オーガニック、サイケデリックをテーマに幅広い選曲で遊ぶTarzan。山川ダンスサークルの仲間たちと野外活動をしながら、自然と音楽の喜びを広めている。

Photo by Yumiya Saiki@yumiyasaiki_yumi

Check out Tarzan on #SoundCloud

For Shows and Information

https://instagram.com/nowhere_man777?igshid=YmMyMTA2M2Y=

■ Shiyu Yanagida (作曲編曲作家 | サウンドデザイナー | 音楽プロデューサー | フォトグラファー | 岐阜産愛知の味噌文化育ち)



幼少よりピアノや音楽理論を学び、やがて映画音楽を好きになる。13歳の頃にネパールへトレッキングに行きエスニック、風土全般に興味を持つ。同じ頃、生まれ故郷にある石の博物館にて空間に流れる音楽の存在感に気づき以降、創作の基礎になっている。それはアンビエントに限らず様々なシーンの様々なジャンルへと繋がる。映画音楽、民族音楽、クラブミュージックの影響を受けながら10代の頃から音楽を生業とし映画やドラマの劇伴、アーティストへの楽曲提供やアレンジ、光を始めとした五感のエンターテインメントショー等の音楽を多く手掛ける(ハウステンボスや新橋SL広場イルミネーション、東京タワー、Tokyoメガイルミ、アウトレットモール商業施設etc.)その他の音楽活動として、マントラを唄うアーティストmicoとのエスニックミクスチャーユニットmico*shiyuを組みライブ活動をしたり、様々なイベントで感性のままオールジャンルなDJを行っている。

Instagram : https://instagram.com/shiyu_yngd

Youtube : <https://www.youtube.com/statelessqirl>

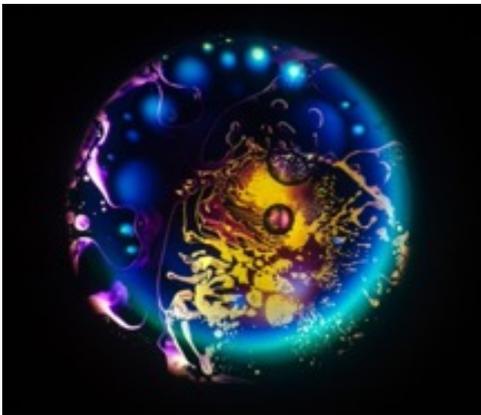
■ DJ NABE



1985年 福岡に生まれ、2004年 13ヶ月の渡印中成人。帰国後、Spiritual JazzのVinylを漁る中、mirrormanによるDance Musicの洗礼、Blue Trip LoveにてPsychedelic Culture, Summer Madnessを体感。2008-2011年 club decadent DELUXE勤務。2013年10ヶ国のアジア、ヨーロッパ滞在中、多彩な文化に触れる。2018年東京都へ移住。2019-2022年 未曾有のPandemic渦中Closeしたclub EN-SOF TOKYOへ従事。Vinyl Only, Dope Grooveを追求。

- Light Show -

■助川貞義 (OVERHEADS)



カウンターカルチャーの祭典・いのちの祭り2000に集った仲間と、OHP(Liquid Lighting)・Slid(Photo)・Videoをミックス投影するライトショーチームOVERHEADSを2000年に結成。国内外の音楽フェス・ライブ・演劇・パーティー等で映像による空間演出を多数手がける。2010年からは、チームサカナクションのメンバーとしてSKANACTIONのライブツアーSAKANAQUARIUMに参加。オイルアートという名称で親しまれる。ツアーを通して、インクとオイル以外の素材、投影手法、仕掛けの研究が進み、より一層、独自の美しい世界の表現が深まる。2018年、OHPの光量では表現できない大会場に対応する為、デジタルと4kを導入し、OHPのライブ・プロジェクトだけでなく、映像製作を始める。

<https://sadayoshisukegawa.net>

- Decoreation -

■元朝



1990年頃から、自ら経営していたカフェの内装を皮切りに、店舗や住宅の空間装飾を多数制作する。2000年頃より拠点を関東にうつし、移動組立式の空間装飾が各種イベントで好評を得る。

<https://genchos.mystrikingly.com/>

- Acoustic Live -

■ Takatomo Nozawa(GONZO)



武蔵野音楽大学声楽科卒業。ビクターエンタテインメントに入社後、SMAPをデビューから10年間担当したほか様々なアーティストの音楽プロデュースを手がけ、45歳で退社。2007年、office727を設立し独立。関ジャニ∞のプロデュースやフェアリーズの2016年9月発売のシングル「クロスロード」の作曲など手がける。2016年より自らアーティスト活動を始め、GONZOとして各地でライブ活動を展開。2017年8月にアルバム『The Barcony Cruise』を発売。音楽プロデューサーの経験を活かし、2017年5月より富山県南砺市の婚活大使に任命された。

■ 浅野祥 (三味線プレイヤー)



祖父の影響により、5歳で津軽三味線を始める。7歳の時、青森県弘前市で開催される津軽三味線全国大会に最年少出場し、翌年から各級の最年少優勝記録を次々と塗り替える。2004年 津軽三味線全国大会、最高峰のA級で最年少優勝（当時14歳）その後、殿堂入りを果たす。2007年17歳でビクターエンタテインメントより「祥風」でメジャーデビュー。以降、コンサートへボウ、ケネディ・センターでのコンサートをはじめ、アメリカ、ヨーロッパ、カナダ、アジア各国でコンサートツアーを行う。石川さゆり、山下洋輔、宮沢和史、早乙女太一など、様々なアーティストとの共演を果たす。中学生時には元BOØWY・高橋まこととバンドを組んでいた。自身のアルバムでは世界的なミュージシャンとの創作にも取り組み、ジャズ界の巨匠ウィル・リーや、同じくジャズ界の若きスタープレイヤー、マーカス・ギルモア、2度グラミー賞に輝いたリチャード・ストルツマンらとアルバム制作を行う。本来の民謡、古典芸能の追及はもちろんのこと、幅広い世代に三味線の魅力を伝えるべく、津軽三味線の可能性を追い求める孤高の若き津軽三味線奏者。

<http://sho-asano.com>

- 体験&ワークショップ出店者情報 -

■ 蜜蝋ラップづくり体験 | 講師：Akane



「Bee simple みつろうラップ」は、繰り返し洗って使用することのできるフードラップです。オーガニックコットン100%の生地に国産のみつろうやホホバオイル、天然樹脂などの天然素材を染み込ませ、一枚一枚手作りしています。手の温かみでお好きな形にととのえ、ぴったり押さえることでどんな形にもフィットするため、野菜・果物の切り口を包んだり、器のラップとしてお使い頂けます。みつろうとホホバオイルの優れた抗菌性により、食品の鮮度が長く保てるといった利点も。約半年～1年間、繰り返し使用することができ、使用後は土に還ります。



■ 講師プロフィール

Akane | Bee simple

大学卒業後、都内金融機関で働く。その一方で、神奈川県の上野原のまち、旧藤野町に拠点をもち、週末移住をしながら自然に沿った暮らしに興味を持つ。2016年渡豪。パイロンベイでの生活中、みつろうラップやプラスチックの問題について知り、衝撃を受ける。現在は南足柄にて使い捨てを減らす暮らしを心がけながら、Bee simpleの屋号でみつろうラップの製作販売、WSなどを行う。<https://beesimple.jp>

■ マッサージ & ぶちお灸体験 | 講師：五十嵐めいこ



相模原市で、産前産後ママのトータルヘルスケアリストとして、助産院及び出張やセミナースタイルで家族をサポートしている五十嵐めいこ先生が、からだ、こころ、地球がめぐる優しい処方せんとして、“めぐり”をテーマにしたオリジナルアイテムの販売とマッサージやお灸などのケアを提供します。



■ 講師プロフィール

五十嵐めいこ | 鍼灸マッサージ師 | タッチケアセラピスト
産前産後ママのトータルヘルスケアリストとして、助産院及び出張やセミナースタイルで家族をサポート。妊婦出産と子育てという新たなライフステージを前に、自分自身や暮らしのあり方を見つめアップデートし直す「セルフカウンセリング」の重要性を伝えている。不妊、孤育て、産後うつ、虐待、少子化など、子育てをめぐる社会問題は全て水面化で繋がっていると考え、解決の一端を担えるよう取り組んでいる。子育て罰など、悲しい言葉が産まれない優しい社会を。子供たちのハートに、安心と生きるよるこびを。

■ 枝鉛筆づくり体験 | 講師：NPO 法人自然体験学校みどり校



世界に一つだけの枝鉛筆作り。まずは、好きな木の枝を選び、サイズ感を決めてノコギリで切ります。ドリルで穴を開け、鉛筆の芯をいれたら、先端をナタで削って形を整えたら完成です。



■ 講師プロフィール

NPO 法人自然体験学校みどり校

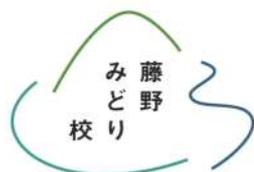
2012年に設立後、豊富な自然環境を活かした自然体験、農業体験、ものづくりや食づくり体験などを企画・運営。これら自然体験をガイド・実施するNEALリーダーの養成にも尽力してきました（2021年現在75人の登録あり）。直近では、実際に竹を切るところから始める流しそうめんイベントが人気です。ここ藤野のアートと自然が融合した里山では、こどもたちはもちろん、おとなたちも童心に返り、一緒に全力で楽しむ姿がよく見られます。 <https://newnormaltourism.net>

■竹の食器づくり体験 | 講師：NPO 法人自然体験学校みどり校



日本の竹細工の歴史は古く、なんと縄文時代にまで約6000年続きます。しなやかで加工しやすく抗菌作用のある竹。かつては私たちの日々の暮らしに欠かせないものでした。この体験では旧藤野町の山林で切り出したばかりのみずみずしい質感の竹を使って竹ばしと竹食器づくりをお楽しみください。

■ 講師プロフィール



NPO 法人自然体験学校みどり校

2012年に設立後、豊富な自然環境を活かした自然体験、農業体験、ものづくりや食づくり体験などを企画・運営。これら自然体験をガイド・実施するNEALリーダーの養成にも尽力してきました（2021年現在75人の登録あり）。直近では、実際に竹を切るところから始める流しそうめんイベントが人気です。ここ藤野のアートと自然が融合した里山では、こどもたちはもちろん、おとなたちも童心に返り、一緒に全力で楽しむ姿がよく見られます。 <https://newnormaltourism.net>

■ミニ太陽光発電システム組み立て体験 | 講師：藤野電力



藤野電力は「ミニ太陽光発電システム」組み立てワークショップを、日本全国の様々な地域で開催してきました。自分で電気が作り出せるこの仕掛けは、ソーラーパネル、バッテリー、インバーターをコントローラーに配線でつなげばでき上がり、電気のコトはちょっと苦手という方でも、30分ほどの作業で完成できるワークショップです。このワークショップで学べることは、単に電気を作る方法だけではありません。日常生活の中で使っている電気の量が、自分が作りだせる量に比べていかに大きいかということを実感することにより、電気がどこでどのように作られているか、節電するには何をしたら良いのかという意識を持てるようになります。※今回は組み立て体験のみとなります。

■講師プロフィール



藤野電力

相模原市緑区旧藤野町地区に生まれた藤野電力は、企業でもNPOでもない地域活動のひとつです。持続可能なこれからの生き方を考える英国発祥の市民活動で、世界に約1,000以上、日本でも60以上の都市で行われているトランジションタウン活動と、廃校にひかりを灯す「ひかり祭り」での電源供給などを契機として活動が始まりました。自立分散型の自然エネルギーDIYや防災啓蒙等を通じて生きる力を育む活動です。2011年より有志メンバーによって自立分散型組織として運営されています。

■オーガニックファーマーズマーケット | 出店者：ピオ市



相模原市緑区の藤野地区で毎月開催されている有機野菜マルシェ「ピオ市」。無農薬野菜で作る野菜アートの野菜曼荼羅の展示と有機野菜を販売いたします。



■ 出店者紹介

ピオ市 / 土屋商店

相模原市藤野地区には、ピオ野菜に愛情を注ぐ様々な農家さんたちがいます。彼らと共にピオ市 / 野菜市という相模原市のファーマーズマーケットを開催してきました。日々丁寧に作られるピオ野菜と、味わい豊かな加工品をお届けいたします。

■ 出店者：夜のパン屋さん



夜のパン屋さんは、街の職人が大切に作ったパンでも、営業時間内で売り切れなくて、ロスとなってしまう時には「夜のパン屋さん」がお預かりし、販売させていただいています。夜のパン屋さんでお預かりするパンは、都内の有名店や老舗店のほか、北海道や静岡からも届きます。パン屋さんにとってはロスを減らし、小さな収入となり、大事なパンが最後まで誰かのお腹と心を満たす喜びに繋がります。どのお店のパンがあるかは、その日のお楽しみ！さまざまなパンのセレクトショップとして、新しいパンとの出会いをお楽しみください。

■ 講師プロフィール

夜のパン屋さん

夜のパン屋さんは、2020年10月16日「世界食糧デー」にオープンした、パンを焼かないパン屋さんです。

「食」をテーマにして、新しい仕事づくりをしたいという思いからスタートしました。

営業時間内で売り切れなくて、ロスとなるパンをお預かりし、代理販売をしております。

「フードロスを減らす」「選ぶ楽しみを作る」「働く場所を作る」の3つの取り組みを行い、

それが人々の緩やかな支え合いとなり、すぐに仕事が必要な人の助けにもなる——さまざまなお店の美味しいパンが並ぶセレクトショップです

